

今週のビルマのニュース
2009年5月1日【0917号】

今週の主なニュース：NLDが特別会議、ほか

・アウンサンスーチー氏が書記長を務める政党、国民民主連盟（NLD）は28～29日、党本部で各支部の代表らを集めて特別会議を開いた。NLDは会議終了後に声明を出し、軍政が全政治囚の釈放、2008年憲法中の「民主的原則にそぐわない条文」の改定、国際選挙監視団の受け入れという条件を満たせば、選挙関連法（未発表）の内容を検討した上で、2010年総選挙に参加すると述べた。選挙参加に関する実質的な条件はこれまでと変わらないが、今回の声明では「選挙は民主主義への過程で通らなければならない重大な行事である」と述べている点が新しい。

・約14万人の犠牲者を出したサイクロン「ナルギス」の襲来から1年がたつ。国連世界食糧計画（WFP）によれば、現在も13万世帯がビニールシートの下で暮らしている。また35万人が食糧の支給を受けており、このうち25万人は今年末まで支給を必要とする見込みという。飲料水の支給を必要とする住民も24万人いる。軍政は3月に、ビザ発行時の援助関係者への特別扱いをやめ、時間のかかる通常手続きに戻すことを発表した。これが援助活動への制限につながるとの懸念もある（29日付AFPほか）。サイクロンで家畜を失い、未だに生計を回復できない小規模畜産業者も多数（29日付イラワディ）。

・政治囚支援協会（AAPP）が1日に出した声明によれば、サイクロン被災者支援を行って2年から35年の禁固刑を宣告されたボランティア21人が現在も収容されている。

その他：EUが制裁を延長、米国の制裁解除はなし

・EUは27日、ビルマに対する制裁措置（コモン・ポジション）を1年間延長すると発表した。

・米国国務省はキング下院議員への書簡の中で「制裁は米国のビルマの民主化改革支援の中で重要な部分を占めており、米国がビルマ政策見直しの一環で制裁を解除するという報道は誤っている」とした（29日付AFP）。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など

外務省国際協力局が「平成21年度国際協力重点方針」を発表した。ビルマについては「前向きな動きがあれば支援」と記述。

イベントなど

・在日ビルマ人共同行動実行委員会アクションー国連事務総長に対し、一刻も早くビルマを訪問し、スーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動（国連大学前、4月27～5月1日15時～）

・キャンドル・サービス～サイクロン「ナルギス」被災から1年 追悼集会 ビルマ僧侶 U Tho Pa Ka 師を招いて～在日ビルマ人共同行動実行委員会ほか（国連大学前、2日15時～）

・ビルマの政治囚の釈放を求める署名活動 ビルマ政治囚支援協会、国民民主連盟（解放地域）日本支部ほか（JR 新宿駅東口周辺、2日～3日13時～）
☆署名活動は日本を含む世界32カ国で展開中。30日現在、26万以上の署名が集まっている。

・いとうせいこう×沢知恵×ダブマスターX「ミャンマー軍事政権に抗議するポエトリー・リーディング QUIET」インスタ・ライブ（タワーレコード渋谷店、2日17時～）

・日本ビルマ救援センター「2009年春 国境訪問報告会」（クレオ大阪東会議室、6日14時～）

・ロヒンギャ民族難民申請者 M 氏、難民の認定をしない処分取消等請求事件口頭弁論（福岡地裁 303号法廷、14日10時半～）、同 Z、L、N 各氏口頭弁論（福岡地裁 303号法廷、19日10時半～）。両日とも終了後、福岡県弁護士会館2階で報告会あり。

・日本ビルマ救援センター「月例ビルマ問題学習会」宇田有三氏（大阪ボランティアセンター、29日19時～）

・第57回ビルマ市民フォーラム例会（池袋・ECOとしま7階、30日18時～）

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ
ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165